

## 会員の皆様

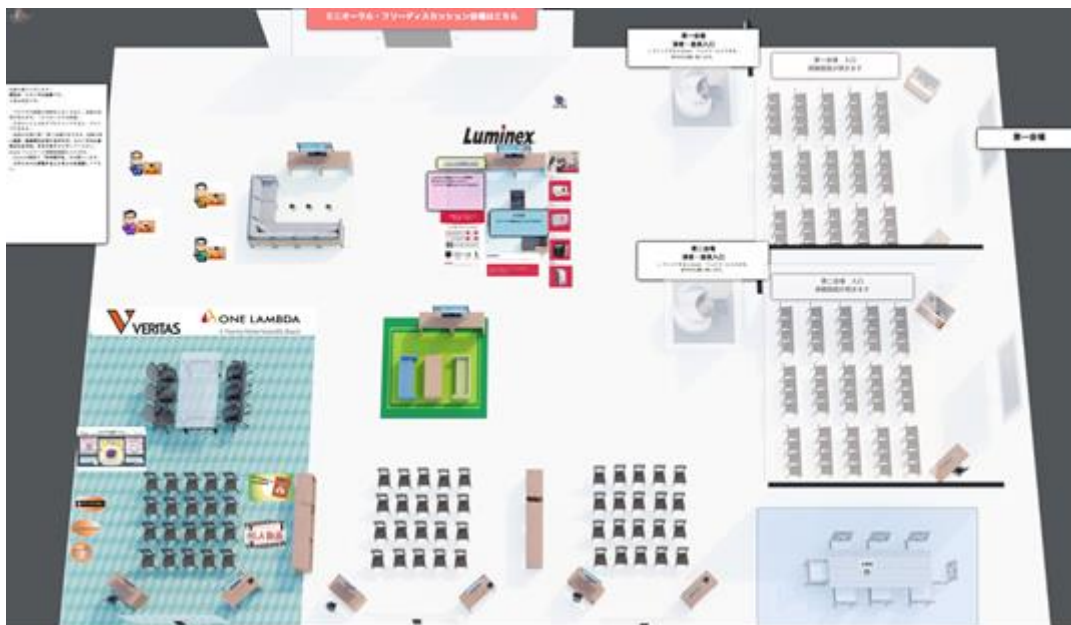
第 30 回日本組織適合性学会大会大会長江川裕人です。

新型コロナウイルス感染者数が減少しつつありますが、ほとんどの施設で学会現地参加が制限されています。今週土曜日から開催される第 30 回日本組織適合性学会大会も急遽完全 WEB に変更せざるを得ませんでした。

9 月の連休に東京に来ていただけなかったのは残念ですが、せっかく最高の学術大会を準備しましたのでまだ登録されていない会員におかれましては奮ってご登録をお願いします。決して失望させません。

ところで、普通の WEB 開催 (Zoom) だと参加している感が低くつい見送りがちにありますが、今回の日本組織適合性学会大会では、私が 7 月に開催した日本肝移植学会で好評をいただいたアバター空間での開催としました。( <https://onl.tw/aBUdmUT> )

臨床系・基礎系・技術系すべての会員に満足していただける超一流の演者による最先端の講演と優秀演題によるシンポジウムと一般演題を提供します。



ここで待っています 江川裕人

大会長おすすめプログラムは、

9月18日

○日本組織適合性学会の育ての親であられる猪子英俊先生の追悼講演

- 1) 信州大学 太田正穂先生：「HLA タイピングの進歩：低解像度から高解像度解析への道のり」
- 2) 東海大学 椎名 隆先生：「HLA 遺伝子領域の塩基配列決定と NGS-HLA タイピング法の開発」

## ○ 特別講演

大阪大学 荒瀬尚先生：「HLA の新たな抗原提示形態：ネオセルフによる新たな自己免疫疾患発症機構」

## ○ 教育講演 1

- 1) 東京大学 大橋 順先生：「HLA と疾患の関連解析に用いるロジスティック回帰分析と生存時間解析」
- 2) 琉球大学 森島聡子先生：「がんの免疫回避と HLA」

## ○ 「第 26 回 QC ワークショップレポート：高精度の検査結果を臨床に役立てるために」

今回特別に技師の方のために、この企画をたてました。内容は、

- 1) 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 石本倫子先生：「DNA-QC について」
- 2) 日本赤十字社 高橋大輔先生：「抗体 QCWS からみる検査データの取り扱いについて」
- 3) 日本赤十字社 小林洋紀先生：「高精度の検査結果を臨床に役立てるために～検査水準のレベルアップと、正確に報告するためのノウハウ～」
- 4) 福岡赤十字病院 金本人美先生（他 3 名）：「検査システム導入による効率化の取り組み」
- 5) 三重大学 西川晃平先生（他 7 名）：「臓器移植における組織適合性検査の役割～検査部門との連携の重要性～」
- 6) 京都大学 諫田淳也先生「血液内科医が検査結果を“正しく”理解するために」

なお、18 日は一般演題もアバター空間で行い、その後のフリーディスカッション会場では、PC の前ではありませんがドリンク片手に情報交換をするような場も設けてありますのでぜひご参加ください。

## 9 月 19 日

### ○教育講演 2 （認定 HLA 技術者講習会）

- 1) 長崎大学成瀬 妙子先生「基礎知識：認定制度筆記試験の解説とポイント整理 —その式—」
- 2) 帝京大学藤原孝記先生『HLA 以外に求められる移植関連検査について』
- 3) 名古屋大村田 誠先生「造血幹細胞移植と組織適合性抗原」